

みてんか

まつさか市議会だより

vol.93
2022.12.1

「みてんか」は電子ブックやPDFでもご覧いただけます。



マジメで面白くない報告ですが...

9月定例会	P2
分科会での主な審査	P4
一般質問	P12





令和3年度松阪市一般会計および特別会計歳入歳出決算の認定についてなど 28 議案を認定・可決・承認・同意

★会期：9月7日(水) から10月19日(水) までの43日間

令和4年9月定例会は、一般会計と8つの特別会計および水道、下水道、市民病院の3つの企業会計の令和3年度決算認定が行われました。

一般質問は9月16日、21日、27日の3日間、20人の議員により行われました。議案28件、請願6件、発議8件が討論・採決され、議案および発議は原案どおり可決しました。

厳しくチェックしたんだね

決算を審議し、次年度の予算に生かす！



決算
審議

市議会 決算を審議

市民の代表としてチェックします！



予算は適正かつ効果的に使われたか？ 事業の成果は？

決算調査特別委員会で審査し、本会議で決算を認定（不認定）します。



4 常任委員会で審査し、本会議で予算を決定します。

※①～⑦の順で
予算編成に生かされています。



決算審議は9月7日に議案上程を行い、議長、監査委員を除く26人で決算調査特別委員会を構成し、13日に本会議での質疑、28日に総務企画分科会、29日に環境福祉分科会、30日に文教経済分科会、10月3日に建設水道分科会の4つの分科会を行いました。

10月17日に決算調査特別委員会での分科会長報告、討論、採決、19日の本会議で各会計の決算の認定・不認定の採決や事業会計の未処分利益の剰余金について可決・否決の採決を行いました。

総務企画分科会

合併特例事業債を活用して
「未来投資基金」を創設



Q/ 合併特例事業債を借り入れたことで市債残高が増えた。合併特例事業債を活用して未来投資基金を創設20億円を積み立てたことによる。財政状況への影響と見通しは。

A/ 有利な合併特例事業債を最大限に活用するための基金を造成した。



空き家バンク事業の登録物件を増やして



Q/ 空き家バンクに758件の相談があったが、新規登録物件が21件、契約成立件数が16件となっている要因と対策は。

A/ さまざまな要因で増えていないが、まつさか移住交流センターや地域おこし協力隊との連携、補助金の要綱も改正しながら登録物件を増やしていきたい。

お試し住宅



松阪市飯高町
で1～2ヶ月、
お試し移住が
できます！（好
評のため、日程
確認必要）

6自治体との災害協定は
迅速な救援活動に期待できる



Q/ 災害協定を結んだ経過と成果は。

A/ 134自治体の意向調査を行い、6自治体と協定を結んだ。発災直後の混乱期に双方が直接支援活動への着手が可能になる。





コミュニティセンター条例で 徹底審査

Q 地区市民センター長を引き上げる理由は。

A 必ずしも職員を引き上げるものではなく、しっかり地域と話し合って配置について決めていく。

Q コミュニティセンター化した場合どのような運営方法があるのか。

A 市の公共施設であり、住民自治協議会が指定管理者となる場合と市の直営となる場合がある。

Q コミュニティセンター＝指定管理という認識に対しどのような対応をするのか。

A 10月下旬に説明会を開催し、指定管理と市直営について説明する。その地域にどういう形であれば進めていけるかも含め協議していきたい。



本会議で附帯決議へ

意見 議案に対し、可決か否決だけでなく、課題が明らかになり、議会の役割を果たした。

コミュニティセンター化していくには、各住民自治協議会が不安に考えている課題等に行政は真摯に向き合い、指導助言することを要望する附帯決議を本会議で提案したい。



▲徳和地区市民センター

環境福祉分科会

地域自殺対策強化事業



Q/ 令和3年度の自殺者の人数と、その対策は。

A/ 32名の方が尊い命を自ら絶たれた。合同相談会など、何かあれば市に来ていただくような啓発を行った。

Q/ 相談窓口担当者への研修内容は。

A/ 職員の窓口業務のスキルアップのため、産後うつへの支援研修を行った。

意見/ 数だけでは推し量れないが、メンタルパートナーなどが携わることができたかどうかが大変。事業内容の再考を願う。



包括的相談支援事業



Q/ 相談支援包括化推進員の配置による解決に向けた対応の実績概要と問題点などは。

A/ 介護を利用する高齢者世帯で、ご家族も精神疾患や知的障害があり、負債も抱えていたケースにさまざまな関係機関とともに関わった。世帯全体の調整役となり、役割分担や方向性を協議しながら進めたことで、ご家族の就労に結びついた。現在は移行準備事業であり、本人の同意なしではプラン作成まで至らないが、来年度、本格実施になれば同意なしでも対応できるため、支援機関の調整役として進めていきたい。



家庭児童相談事業

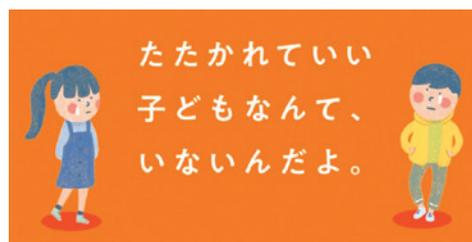


Q/ 虐待が増えた理由は。

A/ 児童虐待に対する意識の高まりから通報・相談件数が増加した。また、コロナ禍で在宅時間の増加や就労環境の不安定さが要因となり、家庭内での衝突が大きくなり、心理的虐待や身体的虐待につながったと考えている。

Q/ 親から、また子どもからも気軽に相談していただけるような体制は取れていたのか。

A/ 電話相談や来訪での相談に加え、児童相談所や学校、幼稚園・保育園などから連絡があれば調査を行っている。また、在宅支援という形で、相談者に寄り添った対応をしている。



▲出典：厚生労働省ホームページ



飯高地域の風力発電所建設
計画反対に関する請願



Q 当審査では、利害関係人や学識経験者へ2回の参考人招致、請願者による口頭陳述と質疑を行った。請願項目2に示されている官地の意味は。

A 基本的には、風力発電事業に関する開発行為を行う範囲にある官地と考えている。

意見 総務省等の見解では、不法行為がなければ官地使用を止める根拠がない。地域の不安を解消するため、議会の意思としてまとまっていく最良の方法を検討する必要がある。

Q 地域住民から賛成の声もあると聞いたが。

A 賛成・中立の方もいるが、大部分の方が反対の意思を示していると判断している。

松阪市松阪市民病院建設
基金条例の一部改正

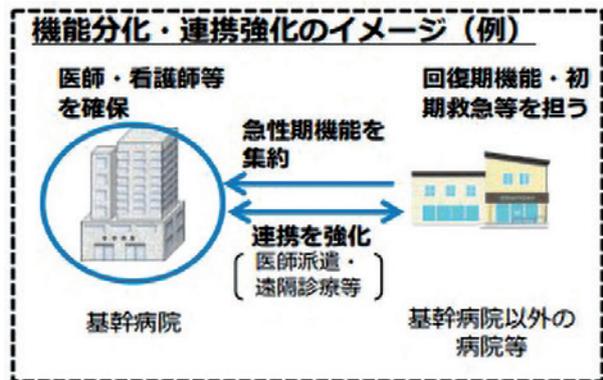


Q 基金の具体的な活用範囲は。何でも使えるように聞こえるが、ガイドライン等はあるのか。

A 人材育成、医師確保に活用したいと考えている。ガイドラインは特に定めていない。

Q 総務省策定の「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」における『役割・機能の最適化と連携の強化』に重点を置いた理由は。

A 病院経営で1番重要なのは医師と医療スタッフの確保と考えている。地域医療においては機能の集約も必要であり、そうした意図も含めて検討し、経営にあたるためである。



▲出典：総務省ホームページ



障がい者雇用促進事業



決算額 28万円

Q 令和3年度民間企業の障がい者雇用率について、三重県全体では法定雇用率を上回っているが、松阪地域は県下で下から2番目で未達成。どのように受け止めているか。

A 法定雇用率は達成できていないが、毎年徐々に上昇しており、成果は上がっている。ハローワークや就労の広場とも連携しながら取り組んでいきたい。

意見 他市では法定雇用率2.3%をクリアしているところも多く、県内でも低い雇用率であることを重く受け止めていただきたい。



▲出典：三重労働局「令和3年三重県内の障害者雇用状況」

有害鳥獣捕獲補助金



決算額 1,998万円

Q 令和2年度決算額より大幅減となった理由は。

A 2年度はイノシシの捕獲頭数が例年より多かったことに加え、3年度はCSF（豚熱）の感染拡大により個体数そのものが減少したため。

Q 猟友会の会員を増やす取組みはされたのか。

A 会員数が減少していることから、市内に居住する方で新規に狩猟免許を取得する方に、経費の2分の1、上限1万円の補助を行った。



コロナに負けるな！ キャッシュレス還元事業

決算額 28,010万円

Q 第1弾に比べて利用額が増えたが、アンケート調査による評価は。

A 利用者631人と事業者307店舗から回答があり、8割以上が次回もあれば実施を望むと回答されており、評価が得られた。

意見 スマートフォンを使用できない方が多数いること、小規模店では経費がかかり参加できないとも聞く。多数の方が参加できるよう支援をお願いする。



新たな学びの創造事業

決算額 44,602万円

Q 令和3年度はICT教育の初年度と捉えられるが、どのようなスタートを切り、どのような課題が出たのか。

A 緊急事態宣言以降、登校しない児童生徒はタブレットで授業を受け、配信される教材で学習した。松阪市はLTEモデルを整備したことで、すべての子どもが家でも学び続けることができた。学校間格差など課題はあるが、研修など支援を進めていきたい。

意見 全国でも進んでいる松阪のGIGAスクール構想。歩みを止めることなく進んでほしい。



競輪事業特別会計

決算額 実質収支額 124,084万円
一般会計繰出金 26,000万円

Q 8期連続黒字となった好調の要因は。

A 各競輪場やサテライトなどの場外発売の努力、ネットユーザーへの三重県特産品を使ったプレゼント強化も要因。令和3年度は公営競技すべての売り上げが伸びており、コロナによる外出控えに伴う需要の影響もある。

Q ミッドナイト競輪開催にあたり、地域との交流、理解は。

A 地域に愛される競輪場を目指し、地元自治会とのコミュニケーションを多く取り、周辺の水路掃除、ごみ集積場設置、イベント告知の回覧など行っている。大きな苦情はない。





道路事故対策の白線整備



決算額 道路事故対策
白線等整備事業費 999万円

Q/ 道路事故対策白線等整備事業の箇所数は。

A/ 対象箇所数は32路線である。

Q/ 交通安全対策施設とは具体的に何か。また、地元要望に何パーセント程度応えられたのか。

A/ 視線誘導標、反射板などの設置である。全体の件数690件のうち対応した件数が457件であり、66%程度である。

意見/ 今後も迅速に対応してほしい。



総合運動公園の みえ松阪マラソンへの整備



決算額 総合運動公園建設
事業費 636万円



Q/ 総合運動公園にある4段程度のコンクリートの階段の使用目的は。

A/ みえ松阪マラソンにおいて大会関係者および、一般客の通路、迂回路として設けたものである。

Q/ 階段を設ける必要はあったのか。

A/ 当日はイベント等が催され、芝生広場からゴール地点に向かう方の利便性を考慮し、設置した。

空き家等対策



決算額 空家等対策事業費 281万円

Q/ 事業費が令和2年度と比較して倍以上に増加しているのはなぜか。

A/ 空き家所有者調査の委託費、納税通知書ヘチラシを同封する業務の委託費の増加である。

Q/ まちなか空家利活用促進制度で成立が7件とあるが、売買と賃貸のどちらか。また、その地区は。

A/ 1件が賃貸、6件が売買である。本庁管内は4件、嬉野管内1件、三雲管内2件である。

意見/ 空き家対策について、なるべく早く解決できるよう、引き続きアピールなど継続してほしい。



市営住宅



決算額 市営住宅修繕工事費 2,394万円

Q/ 粥見団地は全て更地になっているのか。宝塚団地、若葉団地はあと何棟残っているか。

A/ 粥見団地はすべて更地になっている。宝塚団地はあと16棟、若葉団地は2棟残っている。

Q/ 更地になった土地はどのように活用するのか。

A/ 活用の方法は今後考えていきたい。

意見/ 市営住宅の役目は終わったと考えており、ストックマネジメント推進のために、速やかに解体、売却を進めていただきたい。



水道事業



Q/ 事業の利益を市民へ還元することはあるか。また、水道事業の民営化の予定はあるか。

A/ 市民への還元の予定はない。また、水道事業の民営化の予定はない。

Q/ 耐震化率について全国平均を下回っているが、計画のとおり進んでいるか。

A/ 計画のとおりで進んでいる。

意見/ 工事に費用はかかるが、耐用年数もあり、できるだけ早く100%にしてほしい。



Q & A 一般質問



9月16日、21日、27日に20人の議員が市の執行部に対し、一般事務の執行状況や、将来に対する方針などについて、一人あたり50分(答弁時間含む)の時間制限の中で質問しました。



※コロナ対策として、質問席、答弁席にアクリル板を設置しています。

<p>9/16</p> <p>中村 誠 沖 和哉 森 遥香 吉川 篤博 久松 倫生 小野 建二 殿村 峰代</p>	<p>9/21</p> <p>田中 正浩 松岡 恒雄 松本 一孝 濱口 高志 奥出かよ子 橘 大介 深田 龍</p>	<p>9/27</p> <p>西口 真理 楠谷さゆり 堀端 脩 野呂 一平 東村 佳子 海住 恒幸</p>
------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------

※ 一般質問のページの原稿は、本会議での発言を要約し、議員自身が作成したものをそのまま掲載しています。
 ※ QRコードからは、各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。(別途通信料が発生します)



政友会

なかむら まこと
中村 誠 議員

松阪市鳥獣被害防止計画の 現状を問う

問 計画の中に出ている課題について、どのような対策を現在執っているのか。

答 捕獲機材の管理の負担については、捕獲おりに番号をつけ、設置場所やその回収時期などの捕獲おりデータを市役所で管理し、その情報を猟友会と共有、地元負担の軽減を図っている。追い払い活動の人員減少については、高齢化や人口減少の問題を抱える集落を対象に、猿の習性や生態を知っていただくことで、効果的な追い払いにつながる研修を実施し、課題解消に向けて取り組んでいる。

問 大型猿の捕獲おりを設置した経緯とその後、どのような効果があったか。

答 猿の大型捕獲おりについては、自治会等の要望に応じて設置し、現在、辻原町、大石町、飯高町宮本の3か所にある。捕獲頭数は37頭で、今後も大型捕獲おりを活用し、被害防止につなげていく。

問 猿の捕獲おりは地元が要望したら移設できるのか、設置をするに当たっての条件等は。

答 設置場所は自治会の了解を得られれば、被害が出ている地域に移設することは可能。移設先の自治会で設置場所の確保、その周辺の維持管理、その管理などを行っていただくことが求められる。また、猟友会の協力も必要となるので、これらの要件を満たした場合に移設は可能である。



蒼水会

おき かずや
沖 和哉 議員

自治体DX待ったなし！

問 自治体情報システムの標準化・共通化を目的とするガバメントクラウドという新たなシステムにいつ接続するのか。

答 国の方針より、1年早い令和6年10月に接続する計画でいる。

問 今年7月にオンライン申請がスタートした。今後どのように手続きをオンライン可能へと拡大させていくのか。

答 児童手当や保育施設利用など、子育て関係15件、介護11件、被災者支援1件を本年度末までに進めていく。

子ども達のための幼稚園と保育園

問 共働き世帯の割合が約7割あり、幼稚園を選択できる家庭は少ない。預かり保育を6時まで延長できないか。

答 法改正により、保育園でも幼稚園でも同じ内容で保育教育を提供している。延長は考えていない。

問 では、幼稚園を大規模に減園・集中できないか。保育士が足りず、保育園の定員上限まで受け入れができていない。8月現在の待機児童は1歳児が13人。仮に幼稚園から3人保育園へ異動すれば待機は解消する。抜本的な方針の改定に踏み込むべきでは。

答 令和8年のあり方基本方針の見直しで、どの園とどの園をいつ再編統廃合するかといった、踏み込んだ見直しを行う。



蒼水会



もり はるか
森 遥香 議員



市全体で考える環境

どの地域に住んでいても心一つに

問 自治体とリユースの連携の考え方は。
答 粗大ごみ再生利用の場所、人員、熟練度、けが等、諸問題が多く現時点で再生販売等は考えていない。

意見 粗大ごみは主に筆筒、木製家具、ベッド、勉強机。卒業入学時期にリユースするなど、まちの課題は既に持っている人・もの・企業と協働し解決を！

問 ごみ拾いボランティア用ごみ袋無料配布事業開始から約2か月。経過は。

答 可燃1,297枚、不燃682枚配布。

意見 市の環境美化への意思の表れを喜ぶ声を聞いている。今後も市民の声を基に、柔軟な運営ルールの検討を。

問 不法投棄、ポイ捨てへの対策は。

答 昼、夜、深夜～早朝とさまざまな時間帯で監視パトロールと回収運搬を実施中。

意見 割れ窓理論防止に向け「イエローチョーク作戦」等、低予算・市民と協働でできる対策も検討を。

水辺の安全教育

水難者ライフジャケット着用率 17.6%

問 小学校での事故防止の指導状況は。

答 着水水泳17校、ライフジャケット活用20校。今後、保護者・消防署員・ライフセイバーと連携し、教育を推進する。

意見 平等に全校で開催され、保護者・地域と協働する体験型教室や、防災訓練に水辺安全教育の追加を望む。



市民クラブ



よしかわ あつひろ
吉川 篤博 議員



コロナ禍における学校・園の役割

問 「いきいき学校プロジェクト」で、不登校を減らすためのさまざまな取組みの活動状況や今後の見通しは。

答 全ての小中学校で学級満足度尺度調査を行い、各担当と連携しICTを活用するなど、支援の充実を図っている。

問 「学校規模適正化」の進捗状況やロードマップの作成・意見集約の方法は。

答 検討委員会の答申を10月に頂き、多くの方々の意見を反映させて適正規模・適正配置の基本方針を作成していきたい。

意見 丁寧な説明をお願いしたい。

コロナ禍における

「いのち」を守る取組

問 通学路の危険箇所改修の進捗状況は。

答 累計429か所のうち、残りの76か所について、引き続き対応を検討する。

問 子どもの「いのち」を守る施策が今大事な時期であるが、市長の考えは。

答 「子育て一番宣言！」というのは、1番目の公約で、教育も含めてかなり力が入れている。特別教室の空調設備の設置は、もう一度、議論し直さないといけない。

意見 子どもたちが輝いて安全安心した生活を送られるよう、教育関係の予算の増額や、施設設備の改修等をお願いしたい。



その他の質問

- ・スポーツ施設の長寿命化計画と改修の進捗状況
- ・中学校の部活動における地域スポーツへの移行化など

会派に所属
しない議員



ひさまつ みちお
久松 倫生 議員



公立病院経営強化プランで 松阪市民病院の今後は

問 松阪市民病院が感染症医療の中心的役割を果たしてきたことを確認したい。今後の病院の在り方で公立病院経営強化プランの策定がある。基本点は、在り方検討についてこの間進まなかったが、課題についてどう捉えているか。

答 新型コロナウイルス対応には職員一丸となって取り組んできた。経営強化の基本はガイドラインに従い、県の医療計画、地域医療構想と整合性をもった策定を進める必要がある。提言が出てから2年半経過した要因は、コロナの影響が大きく再検証なしに進められなかった。



小津安二郎生誕120年、 没後60年の記念事業の成功を

問 来年が小津安二郎監督の生誕120年、没後60年の記念の年に当たる。町おこし、歴史文化を考える上で成功させていただきたい。2021年4月に小津安二郎松阪記念館が開設されたが、見ていない、知らないという方が多い。世界や全国に知られていても市民には知られていない問題を実感する。わがまちを知ることにつながる。

答 今年度刊行予定の日記の成果を踏まえ企画を検討したい。小津安二郎の青春期がここにあったということ全国に発信し、頑張っていきたいと思う。

公明党



おの けんじ
小野 建二 議員



公用車の貸出し

問 高齢者等が家庭から出たごみ、剪定枝等を運ぶ時、軽トラック貸出しの取組みを行っている他市町がある。本市においても、個人への軽トラックの無料貸出し対応を提案するが、いかがか。

答 本市住民活動支援の公用車の貸出規程では、個々の生活を支えることを目的とした貸出し制度ではなく難しい。

意見 市民の利便性向上に取り組んでほしい。

市内AEDボックス等に 三角巾セットの配備を

問 AEDの使用時、女性のプライバシー確保や止血、骨折対応、ぬれている体を拭く目的で三角巾を数枚入れ、付属備品の充実を図っている他市がある。本市でもケース内への導入を提案するが、いかがか。

答 女性のプライバシー確保の観点から有用であると考え。新たに三角巾の導入に関して、松阪地区広域消防組合等、関係機関と協議し、検討してまいりたい。

問 コンビニエンスストアにAED設置をお願いし、24時間使用可能、安心な環境づくりを提案するが、いかがか。

答 救命率の向上が期待されると考える。設置について研究課題としてまいりたい。

問 本庁舎各階ごと、同じ位置に最低1台は設置するべきと考えるが、いかがか。

答 AEDの適正配置ガイドラインにより、安心安全な市役所を目指していきたい。



会派に所属
しない議員とのむら みねよ
殿村 峰代 議員

「生理の貧困」ジェンダー問題 公共施設に生理用品設置を

問 現在の教育現場において、どう性教育がなされているか。「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」に基づいて、日本の性教育が遅れているといわれる要因は。

答 性教育は命の教育。すべての教科領域を通じて取組まなくてはならないもの。「包括的性教育」という身体的な話だけでなく、社会的な規範の是非、差別や暴力、ジェンダーの不平等をなくす方法、性を安全に楽しむ権利、リスクに直面した時にアクセスできる機関など幅広いテーマを包括的に取り扱うものと踏まえて、幅広く学習の機会が提供できるよう努めている。歯止め規定などいくつかの問題点はあるが、人としての教育をしっかりとやれる日本の教育の良さとする。

問 県立高校のトイレに生理用品が設置されている中、大人の社会が女性の生理現象に対して普通に配慮されるよう、公共施設の市庁舎や図書館・体育館・文化センターなど社会的教育的施設に子どもを含む女性の生理の貧困への支援や教育の一環としてトイレ個室に生理用品の設置があれば、気兼ねなく使用・教育的指導も可能ではないか。

答 今のところ、生理用品を置く考えはない。

意見 庁舎男性トイレ個室に非接触型サニタリーボックスが設置された。女性は声を挙げづらい状況がずっと続いていた。ジェンダーギャップ解消を考えてほしい。

政友会

たなか まさひろ
田中 正浩 議員

松阪市のカーボンニュートラル推進 市民にも補助金を

問 災害時に地区市民センターが避難所になる。防災面を考えると太陽光発電や蓄電池を設置した方が良いと思うが。

答 地区市民センターを含む公共施設の太陽光発電や蓄電池の設置は可能性調査を実施して具体的な検討を行っていく予定。

問 コミュニティセンターの指定管理者から省エネの為に照明器具をLEDに交換の申し出があった場合、行うのか。

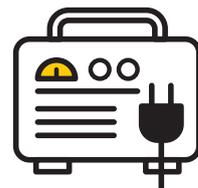
答 公共施設のLED照明への切り替えは各施設の照明状況の調査を行い、その調査の結果に基づいて具体的な検討を行う。

問 松阪市としてエネルギーゼロ住宅についての補助は。

答 国の補助金に加えて他の自治体の支援の状況に続いて調査研究を行っている。

問 太陽光発電のFITへの売電が終了して防災面も考えて蓄電池への補助金があれば市民が安心できる設備だと思うが。

答 一般家庭への蓄電池導入も家庭の防災力向上の観点から効果は高い。独自に補助金等による支援を行っている自治体もある。他の自治体の支援の状況や支援基準など情報収集をしている。一般家庭の脱炭素社会の実現に効果的な支援の方法について調査研究を行っていく。



その他の質問

- 予算4,700万円の公衆トイレは必要か
- 野球場でなぜ野球を優先して使用させないのか

公明党

まつおか つねお
松岡 恒雄 議員いきいき学校プロジェクトの
進捗と不登校特例校の取組

問 文部科学省の2020年度調査によると不登校の小中学校児童生徒は8年連続で増加。2017年度からは過去最多を更新。4月から7月までの『いきいき学校プロジェクト』の進捗状況はどうか。

答 長期化するコロナ禍で不登校数の増加予想。不登校の未然防止、居場所づくり、ICT活用の空間づくりを進めた。新たな不登校を生まない取組みを進め、ICTを活用、一人ひとりの思いや願いに寄り添った教育実践を進めていく。

問 昨年度の不登校児童生徒数と、今年度7月までの不登校児童生徒数はどうか。

答 令和3年度不登校数は小学校117人、中学校216人、合計333人で過去最大。今年度、小学校56人、中学校152人。この208人の児童生徒は誰かと関わり、人とのつながりが全部できている状況。

問 子どもの状況に合わせた授業カリキュラムを組むことができる不登校特例校の取組みについての見解は。

答 不登校特例校については調査をしていた。必要なシステムと認識している。

問 不登校特例校の取組みをこれからも研究し活用できないか。

答 柔軟なカリキュラム編成、フリースクールを併設し、小学校も対象とした教室を各中学校に開設することが適したモデル。小学校から中学校までを支援できる場所を各中学校区に設置したい。

用語
解説

「いきいき学校プロジェクト」
…コロナ禍不登校増加のため、令和4年から始まった①未然防止 ②居場所づくりと教室復帰 ③ICT（情報通信技術）活用を柱とする児童生徒への支援事業。

政友会

まつもと かづたか
松本 一孝 議員

過疎地域に関すること

問 過疎法に関することで固定資産税が免除になる優遇措置があるがその内容は。

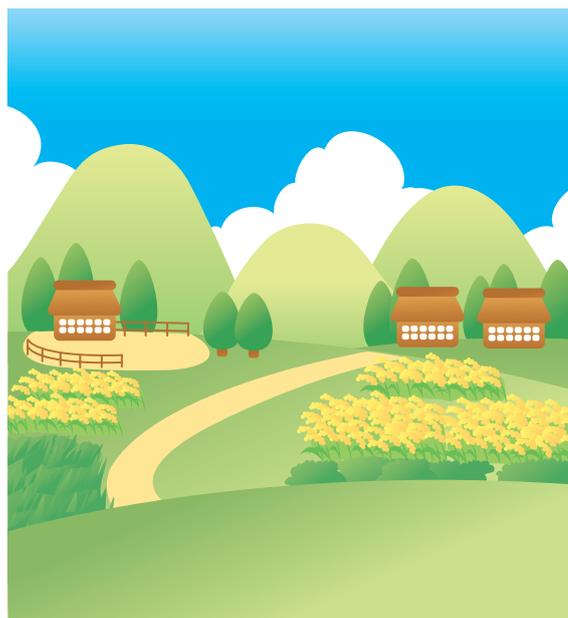
答 個人または法人が過疎地域内で製造・農林水産物等販売・旅館・情報サービスの事業用資産を取得した場合、3年間課税免除とする。

問 現在、医療機関はどのような状況か、またDXなどの活用はあるか。

答 飯南管内に民間診療所が2つ、市営眼科が1つと飯高管内に民間診療所が1つ、市営の診療所が3つある。DXの活用は、現在具体的な計画はない。

問 人口減少の中、今後の統廃合はないか。診療所は、今後も継続するか。

答 民間の診療所、市営の診療所も指定管理として現在継続しているので今後もその方向で進んでいく。



蒼水会



はまぐち たかし
濱口 高志 議員



大学誘致

JR 四日市駅前案に対抗できるのか！

問 四日市市長は知事にJR四日市駅前への県立大学誘致を要望した。知事は地元就職率の低さ、費用に関する市町への財政負担に言及した。否定的な見解のようだが竹上市長はどう受け取ったのか。

答 大事なのは県内29市町のうち22市町が県立大学設置を要望しているということ。

意見 JR四日市駅前なら松阪から40分で行ける。また、目的は若者定住であるので、奨学金免除が効果があると思う。

投票率向上に選挙スタンプラリーを導入してはどうか

問 投票率が低くなってきた。衆議院選挙は関心が高く投票率は高い。継続的に毎回選挙に行ってもらうために、選挙スタンプラリーを提案したい。選挙に行ったら投票済証をもらい、ここに貼る。投票済証も毎回同じではなく、松阪の偉人のデザインを募集する。4年間を1サイクルとし、スタンプラリーが完成したら記念品をもらえるというのはどうか。

答 提案いただいた内容も参考にしながら研究していきたい。



選挙スタンプラリーカード

公明党



おくて こ
奥出 かよ子 議員



新型コロナウイルス感染症の

感染者の松阪市の相談窓口！

問 新型コロナウイルス感染症の市民の困ごを聞いていただける市の相談窓口が必要と強く感じるが、どのような考えか。

答 市民の方には迷惑をかけてしまった。この反省から丁寧に対応できるよう国・県の感染症対応について情報を全庁職員へ発信し、情報共有を行っている。

問 自宅療養者の多い中、困ったことの声をもっと把握されているのか。

答 市民の方が何に困ってみえるのか、ニーズを把握し、市としても対策を講じることは重要であると考えている。

問 市民の命を守り、安心につながる発信が急務。市民の皆さまへの発信を伺いたい。

答 今後、市民の方に情報が分かりやすく届くよう、広報やホームページ、松阪ナビなど情報発信の内容も見直し、周知啓発を行って参りたい。

問 竹上市長に、もう一歩踏み込んだ行政対応についてご見解をお聞きしたい。

答 ご相談いただければ、松阪市として生活支援として対応させていただきたい。

問 職員の給与明細の電子化の見解は。

答 コスト削減などメリットもあるが、当面は、電子配信と紙による給与明細の併用で対応させていただきたい。

問 ごみ処理申込みのデジタル化・インターネット窓口も含めて手続きの簡素化を。

答 オンライン申請の導入に向け課題を整理しデジタル化に向け研究していく。



市民クラブ



たちばな だいすけ
橘 大介 議員



棚田の景観重点地域と 風力発電計画の関係

問 白猪山の風力発電計画は2社ある。仮に景観重点地区になっても、白猪山の風力発電計画が進められた場合に、どのように対応するのか。

答 白猪山周辺における2つの風力発電計画は令和4年に地域において、事業者が事業説明会を行っている。もう1つの事業者は平成31年に市へ訪問があった以降目立った事業活動の情報が入ってきていない。今回の重点地区候補地として追加を予定している範囲は、白猪山までのエリアは対象にしていない。棚田部分の5ヘクタール程度について検討を行っている。

松坂城の桜ライトアップを プロジェクションマッピングに

問 コロナ禍を受けて旅のスタイルは変わった。松坂城の桜ライトアップを磨き上げてプロジェクションマッピングにしてみてもどうか。

答 松坂城跡内の桜松閣にてデジタルライトアップを12月の2日から4日に実施予定。我々も屋外のコンテンツを今、考えている。



▲蒲生氏郷の家紋、対い鶴

その他の質問 / 松阪市の農福連携の取組

蒼水会



ふかた りゅう
深田 龍 議員



指名競争入札における業者の 負担軽減を求む

問 近年、部材の価格高騰、光熱費の高騰、人件費の高騰と経営泣かせの単語が並ぶ。働き方改革も取り組むなかで、経費はさらに上がり、労働時間も制限されるなかで、企業は生産性を維持していく必要がある。仕様書を取りに車を会社から走らせ、時間を取られるが、仕様書のメール対応はできないのか。

答 将来的に電子入札は目指すべき方向ではあるが、まずは各課の状況を把握した上で、入札の効率化やペーパーレス化など事務の見直しについて検討し、極力業者の負担にならないよう努めてまいりたい。



心寄せ合う文化育つまちづくり

問 市長の文化政策に対する考えは。

答 文化の持つ力ということに対してすごく共感する部分があり、生活の質を高めるという活動というふうに考えていけば、文化の持つ力は非常に無限に近いと思う。民間の活力も取り入れていろいろな形でコラボしながら、よりまちを活性化していく、まちづくりをしていく中に、芸術文化を取り入れながら努めていければと考えている。今後もこうした視点で松阪の文化の醸成というものを進めていければと思う。

会派に所属
しない議員



にしぐち まり
西口 真理 議員



新型コロナの初期診療・検査体制 の課題と情報周知

問 咳や発熱等の症状が出た時、かかりつけ医で診てもらえない場合どこへ行ったらよいのか、何か所かの病院に電話したが診てもらえない等の相談を受けた。市民に情報が届いてないのでは。

答 三重県の受診・相談センターに問い合わせいただくか、県ホームページ掲載の診療・検査医療機関（発熱外来）一覧から探し、電話で相談していただく。

問 医療機関の一覧、市のホームページに載っているが探しにくい。受診・相談センターの連絡先も分かりにくい。ネットを使えない方、高齢者のためにも紙媒体での案内も必要。広報まつさかに初期の発熱相談、自宅療養中に症状が悪化した場合、後遺症の相談、ワクチンの副反応の相談など色んな相談窓口の電話番号を一覧で入れていただけないか。

答 第7波において混乱した時期があり、ご迷惑をおかけした。市民に情報が分かりやすく届くよう、広報、ホームページ、松阪ナビなど情報発信の見直しを行う。

問 市のPCR検査センターの検査件数、令和4年6月が3人、7月が16人、8月が9人。なぜこんなに少ないのか。機能する運用内容に変える必要がある。

答 各医療機関での検査体制が整ってきた等、開設当初の状況とは変わってきた。当初の役割は果たした。感染が落ち着いたら関係機関と協議を行いたい。



市民クラブ



くすたに
楠谷さゆり 議員



ついに第1回みえ松阪マラソン ～成功への準備～

問 大会の優勝予想タイムと、招待選手は。
答 男子は2時間15分前後か。招待選手は現在調整中。

問 来年以降も大会を継続できて成功と言える。リピーターになってもらうために考えていることは。

答 トンネルのイルミネーション、エイドステーションやフィニッシュ会場での食のおもてなし、コース沿道での音楽など。

問 試走に来るランナーもいる。マラソン大会の経済波及効果は今から考えて欲しいし、コース案内は今から設置すべき。マラソンの最高齢ランナーは何歳か。

答 愛知県の94歳男性。

意見 特別賞を考慮して欲しい。市民の上位表彰も行って市民に愛される大会に。

生活困窮世帯への食料支援

問 行政は生活が苦しい人たちの様子をどのように知る努力をしているのか。

答 生活相談支援センターで相談に応じており、実態の把握に努めている。民生委員からの情報も関係部署に繋いでいる。7月に開設した福祉まるごと相談室では地域で支え合う体制を作っている。

問 以前も提案したが、市役所でも食料品寄付の箱を設置してはいかがか。

答 民間企業やNPO団体の取組みに委ねる。



政友会

ほりばた おさむ
堀端 脩 議員

今年度内閣府大規模地震時医療訓練 県内拠点を松阪市で！

問 今回内閣府大規模地震時医療活動訓練に、市の災害拠点病院の関わりは。

答 三重県が県内の災害医療体制の構築および県内外の医療搬送を実施することにより、南海トラフ地震をはじめとした三重県の災害医療体制を充実するため、行われる訓練である。実は今回市民病院は輪番のため、参加を断念した。

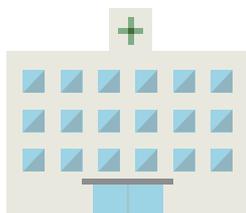
問 当日は輪番に当たっていて、参加できないということだが、県内の訓練拠点は、松阪市県庁舎に置くと聞いている。地元公設病院が欠席と聞き、日頃から言っているように訓練は本番さながらを想定し、輪番がどうこうでなく3病院が輪番協力を相談して取組む姿勢が大事だが、欠席とすることか。

答 今回は残念ながら参加を断念した。

問 非常に残念な回答である。近年災害多発期を迎え、こういう時こそチャンスと捉え、中南勢地区としては敏感に反応・対応する必要があるのではないか。

答 コロナ第7波は多少収まっているものの、まだまだ感染状況化の中にあるため、今回の参加は見合わせる。

意見 コロナの感染拡大時に大地震が発生したり、先般の台風14号がともに三重県に来ていたらとか、もしものまさかを考えたら、役に立つのか。市の防災訓練意識とはその程度なのかと私はとらえる！



蒼水会

のろ かずひら
野呂 一平 議員

「かかりつけ」があるという安心

問 「かかりつけ」に関する市民の意識調査について提示していただきたい。

答 男性より女性の方が6.1%高く、10歳から30歳までが50%であることに對し、年齢が高くなるほど、割合が高くなっている。

問 現在の松阪市における「かかりつけ」に関する考え方は。

答 かかりつけ医を持つ市民100%を目標として掲げ、かかりつけ医を持つことで、市民が身近な地域で医療を受けられることができ、安心して生活できる社会を目指すものである。

意見 医歯薬の事業所マップを、分かりやすい説明案内も加えて作成していただきたい。



学校規模適正化

「子どもたちの未来を考える」

問 学校規模適正化という考えの中において、小中の一貫校という「縦」の連携の有用性については。

答 義務教育9年間を連続した教育課程としてとらえ、児童・生徒、学校・地域の実情等を踏まえた具体的な取り組み内容の質を高めることである。

意見 学校や地域やそこに暮らす我々が連携して生きていく、そんな仕組みや運営が、これからの学校や地域には必要だと考える。

市民クラブ



ひがしむら よしこ
東村 佳子 議員



社会的つながり創出提案事業の進捗とその後

- 問** 動き始めた事業の進捗状況は。
- 答** 6提案中4提案を3事業化。予算化された「SDG's ワークショップ」は市内外の若者を対象とし市とNPOが協働でオンライン講演会を開催。他予算化されていない「松阪通信松阪ええとこチャンネル」「まっつあか弁しゃべろに」がある。
- 意見** 必要な方に必要な情報が届くさらなる周知の工夫を望む。

地域特産品ブランド戦略事業の進捗とその後

- 問** 特産品のPRの現状は。
- 答** 松阪ブランド認定制度で今年度現時点で松阪鶏焼き肉のたれ、原木生しいたけなど15品目、6事業者を認定。東京駅等での特産品のPR販売、ふるさと納税返礼品として全国にPR。

自分ごとになる防災・減災の備え

- 問** 市の防災啓発活動は。
- 答** 令和3年に10月第4日曜日が松阪防災の日と制定され、この日を含む1週間を松阪防災週間としており、住民自治協議会や小中学校へ出前講座や防災訓練の支援に出向き、防災対策が特別なものでなく日々の生活と一体的なものとする考え方の定着や災害に対する備えの充実・強化で安心安全なまちづくりの推進を啓発。



会派に所属しない議員



かいじゅう つねゆき
海住 恒幸 議員



白猪山風力発電計画。これでも環境アセスと言えるのか？

- 問** 白猪山の風力発電事業は、環境アセスメントの段階が配慮書、方法書、準備書と来た。準備書の持つ役割と意味について明らかにされたい。
- 答** 準備書は、調査、予測、環境保全対策の検討の結果を示し、環境保全に関する事業者自らの考えをまとめたものである。
- 問** その準備書には、環境保全措置の一覧があり、68あるすべての項目に書かれていることがほぼ同じ。「効果は確実」との表現だ。開発をしても環境保全措置をとるから何も問題は起きないという。これが環境アセスメントか。十分に調査した証（あかし）と言えるのか。
- 答** 知事に出した市長意見で、調査の詳細や当該措置をとるに至った検討の状況の記載が不十分で不確定な部分があり、内容を遺漏なく具体的に記載するよう求めると述べた。
- 問** どのような影響を自然に与えるのかということは一切示さない、手続きだけのアセスメントで良いのか。
- 答** 評価書で相当きちんとしてないと、（経済産業大臣から）変更命令が出るのは明らかだ。アセスとしてなっていない。この手の話は、アセスのやり直しが必要かどうかの話になっていく。
- 意見** 東北などでは知事などが計画に反対して撤退という例がある。自治体の長の意思表示はやっていただきたい。



9月定例会の議決結果

○は全会一致、●は賛成多数、✕は賛成少数

塗りつぶしの●は、賛否が分かれた議案等です。議員の賛否内訳は下の表をご覧ください。
過去の賛否内訳も議会ホームページから見ることができます。

check!! →



審議番号	件名	審議結果	審議番号	件名	審議結果	
令和3年度決算認定	91 一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定	●	人 117 人権擁護委員候補者の推薦		○	
	92 水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	事 118 人権擁護委員候補者の推薦		○	
	93 水道事業決算の認定	●	そ 110 市道路線の認定		○	
	94 公共下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	の 111 市道路線の廃止		○	
	95 公共下水道事業決算の認定	○	他 112 市道路線の変更		○	
	96 松阪市民病院事業決算の認定	●	請願	2 飯高地域の風力発電所建設計画反対に関する請願	●	
	96 松阪市民病院事業決算の認定についてに対する閉会中の継続審査を求める動議	✕		2 飯高地域の風力発電所建設計画反対に関する請願に対する一部採択を求める動議	✕	
補正予算	97 一般会計補正予算（第4号）	○		3 子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める請願書	○	
	98 一般会計補正予算（第5号）	○		4 義務教育費国庫負担制度の充実を求める請願書	●	
	99 国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	○		5 教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願書	○	
	100 介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	○		6 防災対策の充実を求める請願書	○	
	113 一般会計補正予算（第6号）	○		7 加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める請願	●	
	114 一般会計補正予算（第7号）	●		発議	6 市議会特別委員会の設置	○
	条例	101 市コミュニティセンター条例の制定			○	7 市議会議員の派遣
102 市住宅新築資金等貸付事業基金条例の廃止		○			8 議案第101号 松阪市コミュニティセンター条例の制定についてに対する附帯決議	○
103 市職員の定年引上げ等に伴う関係条例の整理		○			9 飯高地域の風力発電所建設計画反対に関する意見書	●
104 市職員の定年等に関する条例の一部改正		○			10 子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書	○
105 市職員の育児休業等に関する条例の一部改正		○			11 義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書	●
106 市職員の給与に関する条例の一部改正		○	12 教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書		○	
107 市職員退職手当支給条例の一部改正		○	13 防災対策の充実を求める意見書		○	
108 松阪市民病院建設基金条例の一部改正		●				
109 市営住宅条例の一部改正		○				
人 115 監査委員の選任	●					
事 116 人権擁護委員候補者の推薦	○					

表決がわかれた案件に対する各議員の賛否

議案番号	議員名	政友会							蒼水会							市民クラブ			公明党		会派に所属しない議員								
		中村誠	松本一孝	市野幸男	田中正浩	米倉芳周	坂口秀夫	堀端脩	野呂一男	山本芳敬	森遥香	野呂一平	赤塚かおり	深田龍	沖和哉	濱口高志	東村佳子	吉川篤博	橘大介	楠谷さゆり	中島清晴	小野建二	奥出かよ子	松岡恒雄	小川朋子	殿村峰代	西口真理	海住恒幸	久松倫生
91		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
93		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
96		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
96 (継続審査動議)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
108		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
114		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
115		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願 2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願 2 (一部採択動議)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願 4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願 7		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議 9		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議 11		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長 山本芳敬は採決に加わりません。

○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員、欠は欠席した議員、除は除斥。

令和5年2月定例会の開催日程(予定)

2/8	水	議会運営委員会	7	火	
9	木		8	水	本会議 代表質問⑤
10	金	予算説明会	9	木	本会議 議案質疑
	∴		10	金	委員会 環境福祉・文教経済
15	水	本会議(当初上程)	11	土	
	∴		12	日	
24	金	本会議 代表質問①	13	月	委員会 総務企画・建設水道
25	土		14	火	委員会(予備日)
26	日	議会運営委員会	15	水	委員会(予備日)
27	月		16	木	
28	火	本会議 代表質問②	17	金	
3/1	水		18	土	
2	木	本会議 代表質問③	19	日	
3	金		20	月	
4	土		21	火	
5	日	補正上程	22	水	
6	月	本会議 代表質問④	23	木	本会議(当初・補正議決)

会期
37日間

本会議は市役所3階市議会議場で、委員会は2階市議会委員会室で、いずれも午前10時から開催します。皆さんの傍聴をお待ちしております。

新監査委員着任



10月20日から市議会選出の監査委員として、赤塚かおり議員が着任しました。

編集後記

早いもので、師走の号の編集後記を書く時期となりました。お気づきいただいた方もあるのですが、今回は飯南高校美術部の生徒さんたちに表紙のデザインをお願いしました。暖かいクリスマスをイメージして作成していただきましたが、なかなかのものでしょう。これから、みなさま方におかれましては、年末のあわただしい時期を迎えられますが、より良い新年をお迎えになられますことを、広報広聴委員会一同、お祈りしております。

広報広聴委員長 海住恒幸



今月号の表紙は、
飯南高校3年
橋本菜々花さん
小濱美空さん

12月号の表紙



みてんか91号(2022.9.1発行)P20の訂正について
定例会開催日程のカレンダーに誤りがありました。
お詫びして訂正させていただきます。

《正》

14	水	
15	木	本会議(議決)
16	金	
17	土	
18	日	

《誤》

14	水	
15	木	本会議(議決)
12	月	
13	火	
14	水	



広報広聴委員

【左から】
中村誠、
山本芳敬、
米倉芳周
(副委員長)、
海住恒幸
(委員長)、
殿村峰代、
森遥香、
吉川篤博、
小野建二

UD FONT

見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

